

看護学研究科博士前期課程 看護学専攻の人材育成に関する目的と3つのポリシー 【修士（看護学）】

研究科の人材育成に関する目的（甲南女子大学大学院学則 第5条の2）

看護学研究科は、生命の尊厳や人権の尊重について深く理解し、地域住民の生活の質を探究する豊かな人間性と高邁な倫理観を兼ね備えた質の高い、自立（自律）した教育・研究者ならびに高度な看護実践職者を養成し、社会における保健・医療・福祉の向上に貢献することを目的とする。

専攻の人材育成に関する目的（甲南女子大学大学院学則 第5条の2第2項）

看護教育管理学、成育看護学、臨床応用看護学、コミュニティヘルス看護学を中心とする研究並びにそれに関連する教育科目から教育課程を構成し、各分野の専門性を尊重するとともに分野間の相互連携にも留意しつつ幅広い柔軟な視点から教授・研究を行う。

ディプロマ・ポリシー

1. 本研究科で修得した研究力の基盤（姿勢、考え方、知識）をさらに深め博士後期課程における研究へつなげることができる。
2. 本研究科で修得した研究分野を拡大し、今後の看護教育内容の質向上、教員自身の教育力向上、職業倫理の醸成等にも尽力できる。

カリキュラム・ポリシー

1. 看護実践に根ざした看護事象を哲学的基盤を踏まえて深く探究し学問的追求力を養う。
2. 複雑多様化した地域社会の中で人々の健康課題を的確に把握・分析し課題解決に柔軟に対応できる洞察力、研究力を養う。
3. 看護理論及び諸科の理論と実践とのつながりを解明し看護実践の現場で得た看護への関心を研究的に明確化し更なる研究課題に取り組むことができる力を養う。
4. 海外の看護学研究への関心を深め海外の学会誌を抄読できる。

アドミッション・ポリシー

実践の科学である看護学を実践し、その実践経験を科学的に探究するとともに探究した内容を実践現場の看護の質の向上に役立てたいと考える人を求めます。また大きく変化している社会背景を鑑みグローバルな視点を養いつつ自身の看護実践を深め国際看護、看護教育、看護研究に深い関心を持ち、それらを学び、自身の看護観や倫理観を高め研鑽する人を求めます。